NIE実践報告

1．タイトル：思考力・判断力・表現力を鍛える新聞の活用

2．学校名

群馬県伊勢崎市立第四中学校

3．実践者名（代表者名）

渡邉　敬子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択社会　212人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事を比較しよう

7．目標（狙い）

(1)複数の新聞社の記事を比較し、それぞれの特徴や違いを理解することができる。
(2)新聞記事の比較を通して、自分の意見をまとめることができる。

8．評価の視点

(1)新聞記事の内容を正しく読み取ることができたか。
(2)自分の言葉で記事に対する自分の考えをまとめることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

選択社会の時間のうちテーマ学習(課題解決的学習)が20時間計画されている。そのうち10時間が本単元である。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)興味のある記事をグループで選び、テーマを決める。(1時間)
・新聞記事は家から持って来た生徒がほとんどであるが、新聞を取っていない家も多いので、学校でも準備した。
(2)新聞記事を新聞社ごとに比較し、特徴や違いを読み取る。(2時間)
・同じ内容を取り上げた異なる新聞社の記事を全て集め、生徒に比較させた。
・同じ日付を基本としたが、多少日付を前後して取り上げていた新聞社もあったので、新聞は1週間分を用意させた。
(3)自分の意見をまとめ、グループで発表しあう。(1時間)
・新聞社ごとの比較を通して、記事を読んで気づいたことや記事に対する各自の意見をまとめさせた後、グループで意見交換をさせた。
(4)テーマ・記事の内容・違い・考えを模造紙にまとめる。(2時間)
・文化祭で展示するので、どんな人が見ても見やすく、分かりやすくなるようまとめさせた。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

3年生は2年生の時に新聞を活用した実践を1年間経験しているので、新聞を読むことには慣れている。新聞社ごとの記事の比較はこれまでの実践の応用である。記事の違いを見つけることは、新聞を読み込まないとできないものであり、時間がかかり、生徒にとっては難しいという印象があったようだ。

12．成果と課題

成果(1)新聞への興味関心が高まり、新聞記事を読むことで読解力がつく。
(2)記事を比較することで社会的事象に対する多面的・多角的な見方ができるようになり、思考力判断力が養われる。
(3)記事の特徴や違い、自分の意見をまとめることで表現力が養われる。
課題(1)新聞に慣れることが大切であるので、継続的な実践が大切である。
(2)選択社会だけではなく、朝読書での新聞購読など、幅広い活動と合わせて行うことが大切である。